

(令和3年10月試験研究業務月報)

試験研究課題：病原体侵入防止のための畜舎周囲消毒方法の省力化技術の開発

研究

## 畜舎周囲の消毒液自動噴霧装置を開発中

畜産農家では、病原体侵入防止のため、畜舎周囲に2m以上の幅で定期的に石灰を散布していますが、重労働であることから効率的な消毒方法の開発が求められています。

当センターでは、ホームセンター等で購入可能な資材を用いて消毒液自動噴霧装置の実験機を製作し、周囲96mの当センターの鶏舎に設置して、噴霧量や噴霧範囲等の能力を調査しています。調査の結果、ポンプユニットからの配管を2系統作り、スプレーユニットを4m間隔で片側14台設置し、タイマーによる交互運転を実施することにより、1つのポンプで効率良く散布出来ました。

今後、1日当たりの噴霧回数や噴霧量、使用する薬液別の殺菌効果の持続性、冬期の凍結状況等を調査し、最適な運転方法の検討や装置の改良等を行います。



制御ユニット及びポンプユニット  
(タイマー制御)



スプレーユニット  
(10度傾け鶏舎周囲に4m間隔で設置)

畜産センター